

次号予告

特集 医療・医薬とヘルスケア・インフォマティクス

見守りシステムの現状と課題—IoTとしての位置付け—……………沼尾雅之（電気通信大学）

医薬品需要の効率的時系列クラスタリング

—医薬品の需要予測に基づく、在庫量最適化と流通の非効率解消に向け—

……………大友翔一（慶應義塾大学）、金本祥平・山口洋介・橋上英宜（（株）ファーマクラウド）、
赤林英夫（慶應義塾大学）

ベイジアンネットワークによる地域健康予測……………佐々木健佑・久野譜也・岡田幸彦（筑波大学）

医療情報と情報セキュリティマネジメント……………谷本茂明（千葉工業大学）、佐藤周行（東京大学）、

川本祐子（東京医科歯科大学）、秋葉淳哉（NTTアドバンステクノロジー（株））

デジタルICTを用いた人々の行動変容に関する取り組み：インフラ、メソッド

……………中川敦寛・日下房子・浅野成子・寺島なお子・八木橋真央・
高橋千明・改正将夫・佐藤千穂・富永悌二（東北大学）

メーリングリストに登録しよう

会員の方は、本学会のメーリングリストに登録すると、学会ならびに各研究部会の主催する研究発表会・セミナー等の催し物に関する最新情報が得られます。登録方法については、<http://www.orjs.or.jp/members/mlhowto.html>をご覧ください。

編集後記

“人間社会で使われることのないORは意味がありません。みなさん、ORは実学です。”

●知識や情報が容易にかつ瞬時に獲得・共有できるようになった現代において、学会が発行する機関誌として、広く一般社会にまた会員に向けて、どのような独自性をもった知識や情報を発信していくべきか、自問自答を繰り返した4年間でした。みなさんの胸に刺さった特集が一つでもあったとすれば幸いです。

●学会創立60周年記念事業では、機関誌に“赤のちゃんちゃんこ”を着せたり、学会ロゴ入りの“栞”を添付したり…。やはり風変わりな編集長だったのだろうと思います。

●今号からは、新しい編集委員長のもと、新しい発想・感覚で、新しい誌面作りが進みます。今後の機関誌にご期待ください。（猿渡康文）

●今号より、編集委員長を務めさせていただきます繁野です。歴代編集委員長の実績に加え、これまでの猿渡委員長の長きにわたる経験を引き継ぐ重圧がありますが、前委員長の「企画は大胆」に「校正は細やかに」の姿勢を見習い、精一杯努力していく所存です。

●委員長の引き継ぎは桜の季節に行いました。桜の開花の頃は、毎年同じように咲く桜でも、うきうきとした気持ちになり、毎年新しい何かを発見して得した気分になります。機関誌も、読者の皆様にうきうきとできるような企画ができればと思います。よりよい紙面のためのご意見、ご感想、叱咤激励をよろしくお願いたします。（繁野麻衣子）

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 繁野 麻衣子（筑波大学）

特集担当編集委員 伊豆永 洋一（神奈川大学）

委員 朝日 弓未（東海大学）、伊豆永 洋一（神奈川大学）、井床 利生（IBM基礎研究所）、井家 敦（神奈川工科大学）、鶴飼 孝盛（防衛大学校）、大竹 恒平（東海大学）、加藤 怜（公益財団法人鉄道総合技術研究所）、小林 隆史（立正大学）、佐久間 大（防衛大学校）、笹谷 俊徳（東京ガス株式会社）、猿渡 康文（筑波大学）、高野 祐一（筑波大学）、生田目 崇（中央大学）、蓮池 隆（早稲田大学）、原田 耕平（株式会社NTTデータ数理システム）、山本 零（慶應義塾大学）、吉田 琢史（株式会社東芝）

本誌に掲載された記事についての著作権は、公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

令和元年6月号 第64巻 第6号 通巻702号

代表者 齊藤 裕

発行所 公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F

電話 03-3851-6100 FAX 03-3851-6055 〒101-0032

<http://www.osrj.or.jp/>

編集人 繁野 麻衣子

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 〒151-0051

・本誌購読のお申込みは、日本オペレーションズ・リサーチ学会へ。

・本誌への広告のお申込みは、明報社（Tel 03-3546-1337）へ。